

種名	<h2 style="margin: 0;">セ イ タ カ シ ギ</h2> <p style="margin: 0;">Himantopus himntopus</p> 												
	分類	チドリ目 セイタカシギ科											
特徴	<p>ピンク色の細くて長い脚をした、スマートなシギ類。世界中の熱帯から温帯に広く分布する。日本には稀な旅鳥または冬鳥として渡来し、戦前は5回の記録しかなかったが、1960年代以降には観察例がふえてきた。1975年以降は愛知県と千葉県でも繁殖した例がある。</p>												
生活	<p>1～数羽で海に近い水田、ハス田、池などに棲息し、稀に干潟に現れる。長い脚を活かして、他のシギ類よりも深い水中で採餌し、水棲昆虫、小魚などの小動物を捕まえる。時には水中を泳ぐことがある。脚で頭を羽づくろいする時には、翼と体の間から脚を伸ばす。間接頭かき法をとる。繁殖期には水辺に近い草地の地上に営巣し、普通4卵を産む。オス、メスともに抱卵し、日数は22～26日位である。</p>												
声	<p>繁殖期には「ケレッ、ケレッ」と鋭く鳴きながら警戒し、飛翔したり、地上にとまっても鳴く。外敵が巣や雛に近寄ると「ケレッケレケレツ」と激しく鳴き続ける。非繁殖期には「ピョッピョツ」という声で鳴くが、あまり鳴くことはない。</p>												
見分け方	色彩と体形で見誤ることはない。頭部の羽色は個体変異が大きい。												
時期：繁殖地	(月)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
：越冬地	(月)	1	2	3	4	5	-	-	8	9	10	11	12
その他	全長(L) 32cm 翼開長(W) ? cm												
参考文献：山溪カラー名鑑 日本の野鳥													